

2017年度(平成29)年度入学生対象

| 変更箇所 | 変更前 | 変更後 | 変更年月 |
|--|--------------------------------|--|---------|
| 【32ページ】 履修登録制限単位数に含まれない科目 | | 「英語コミュニケーションコースに所属する学生が履修する「海外研修」」の追加 | 2018年3月 |
| 【43ページ】 卒業研究(演習論文)作成要領 | | 以下の文言を追加。 ・卒業論文は日本語で執筆するものとします。ただし、指導教員が認めた場合は英語で執筆することも可とします。 ・英語で執筆する場合は、英文校閲を含め、内容と形式について指導教員から十分な指導を受けてください。 <本文・目次・参考文献を記載する用紙の指定(英語)> A4サイズ、上質紙(白)、黒字印字【※感熱紙不可】 5,000words以上、片面印刷 上および左右の余白20mm、下余白25mm ページ番号は下中央(底より10mm程度の位置) ・英語の場合の文字数は5,000words以上です。どの言語で作成する場合でも、論文要旨は日本語で400字以内とします。 | 2018年3月 |
| 【58ページ】 初修外国語の再履修のうち「中国語 I・II」に関する部分 | 不合格となった科目の再履修クラスを選択して履修してください。 | 不合格となった科目の再履修クラスあるいは正規クラスを選択して履修してください。 | 2018年3月 |
| 【63ページ】 教養科目、選択外国語科目の予備登録にかかる記載のうち「海外英語研修」に関する※部分 | その上で本登録を行います。 | その上で申込み手続きを行ってください。 | 2018年3月 |
| 【73,78ページ】 経済学部専攻科目 開設科目 | 上級マクロ経済学 | 「上級マクロ経済学A」及び「上級マクロ経済学B」に変更。 単位:2単位 グレイド:500 セメスター:第5セメスター 備考:「上級マクロ経済学」単位修得者は履修不可 | 2018年3月 |
| 【73,78ページ】 経済学部専攻科目 開設科目 | 上級マイクロ経済学 | 「上級マイクロ経済学A」及び「上級マイクロ経済学B」に変更。 単位:2単位 グレイド:500 セメスター:第5セメスター 備考:「上級マイクロ経済学」単位修得者は履修不可 | 2018年3月 |
| 【74,79ページ】 経済学部専攻科目 開設科目 | 上級計量経済学 | 「上級計量経済学A」及び「上級計量経済学B」に変更。 単位:2単位 グレイド:500 セメスター:第5セメスター 備考:「上級計量経済学」単位修得者は履修不可 | 2018年3月 |
| 【89、94ページ】 英語コミュニケーションコース開設科目「Intercultural Discussion」及び「学部共通特別講義 I」に対する注記 | 受講上限人数を15名とし、受講資格を設定する。 | 受講上限人数、受講資格ともに設定しない。 | 2018年3月 |

| 変更箇所 | 変更前 | 変更後 | 変更年月 |
|--|---|---|----------------|
| <p>【121ページ】 大学院経済学研究科入学ガイド 1の(1)経済学総合研究プログラム</p> | <p>本プログラムは、政府や国際機関および産業界において活躍するために必要な政策評価および経済分析能力を持つ人材を育成することを目的としています。基礎となるマクロ経済学、ミクロ経済学、計量経済学のコア科目をしっかりと履修した上で、最先端のツールを用いて社会を分析します。</p> | <p>本プログラムでは、全員履修科目で経済学の実践的研究能力を修得するとともに、各自の研究テーマに基づき、「理論」、「政策・応用」、「民際」、「歴史・思想」、「国際」の5分野から主分野、副分野を選択し、体系的な科目履修を行います。</p> | <p>2018年3月</p> |
| <p>【121ページ】 大学院経済学研究科入学ガイド 1の(2)民際学研究プログラム</p> | <p>1994年から日本の大学で初めて「民際学研究コース」を設置し、新しい学問領域へ積極的なアプローチを行っています。「民際学」とは現代社会の諸問題を国家の枠組みを越えて形成された関係現象だと把握し、全く新しい概念のもとに体系的に研究していく学問です。具体的には民族問題、開発問題、環境問題、地域問題、ジェンダー問題、NGOなどを取り扱い、同時にそれらの諸問題の相関関係等についても共同研究を進めます。</p> | <p>経済学総合研究プログラムとの合併に伴い、削除。</p> | <p>2018年3月</p> |